



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社プラザホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 7502 URL <https://www.plazaholdings.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 堤 俊之 TEL 03-3532-8812  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,907	1.4	△42	—	2	—	5	—
2024年3月期第1四半期	3,853	△8.6	△345	—	△250	—	△274	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 11百万円 (—%) 2024年3月期第1四半期 △268百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	2.26	—
2024年3月期第1四半期	△113.57	—

(注) 当社は2023年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	9,999	2,137	21.4	886.05
2024年3月期	11,027	2,246	20.4	931.42

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 2,137百万円 2024年3月期 2,246百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	17,000	△3.6	250	14.3	200	△22.4	100	70.1	41.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	2,767,251株	2024年3月期	2,767,251株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	355,162株	2024年3月期	354,942株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	2,412,182株	2024年3月期1Q	2,415,711株

(注) 当社は、2023年10月1日付で、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、T D n e t で開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内の雇用や所得環境の改善が見られる反面、様々な地域における国際情勢の緊迫化による地政学的リスクの高まりや、円安による物価上昇・原材料価格の高騰等により、経済の先行きは不透明な状況にあります。

このような事業環境において、当社グループは引き続き、モバイル事業の継続的成長と、パレットプラザをはじめとしたイメージング事業の新たな収益の柱となる事業の創出に積極的に取り組んでまいりました。

モバイル事業においては、スマートフォンの値上がりによる買い替えサイクルが長期化しておりスマートフォンの販売が伸び悩む一方で、SIMのみの回線契約の割合が増えていることから前第1四半期連結累計期間と比較して売上高は減少しました。店舗外での販売イベントも集客力のある開催場所を選定したうえで引き続き積極的に開催したことにより回線契約件数を確保の生産性が向上したこと、販売後の利用サポートはサブスクリプションサポートを案内し、加入者が順調に増え新たなストック収入となったことから、売上総利益は、前第1四半期連結累計期間と比較して増加しました。

なお、当第1四半期連結累計期間末における店舗数は、80店舗となっております（前連結会計年度末82店舗、前第1四半期連結累計期間末87店舗）。

デジタルデバイスや周辺ソリューションへの企業ニーズが高まってきていることから、当社の店舗に来店される法人顧客に対しましては、法人営業部門が端末の販売に加え、企業のDX推進をサポートしてまいりました。

以上の結果、モバイル事業の業績は、減収、増益となりました。

イメージング事業におきましては、「パレットプラザ」の2024年6月度は直営店店頭売上前年比113%と売上高は回復基調にあります。特に使い切りカメラ、インスタントフィルムカメラの売上が好調に推移しており、新製品アクリルスタンドも好調な出だしとなっております。一方で、カメラ類の販売構成比が高まったことで粗利率が低下したため売上総利益は減少しました。

なお、パレットプラザの店舗数は、当第1四半期連結累計期間末には、フランチャイズ店舗163店、直営店舗13店となりました（前連結会計年度末フランチャイズ店舗172店、直営店舗は14店、前第1四半期連結累計期間末フランチャイズ店舗182店、直営店舗は20店）。

グランピング事業は、2拠点ともに予定稼働率を上回っており収益が大幅に改善しました。

「One-Bo（ワンボ）」という“オンライン会議のための個室空間”パーソナル・ミーティング・ボックスの販売実績は、テレワークからオフィス出社へ回帰が進むなかでもオンライン会議が定着したことにより好調に推移しております。引き続き販売体制と製品ラインアップを強化してまいります。

以上の結果、イメージング事業の業績は、増収、赤字額の縮小となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、39億7百万円（前年同期比1.4%増）となり、営業損失42百万円（前年同期：営業損失3億45百万円）、経常利益2百万円（前年同期：経常損失2億500万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益5百万円（前年同期：親会社株主に帰属する四半期純損失2億74百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別における概況と業績は次のとおりであります。

①イメージング事業

第1四半期連結累計期間のイメージング事業においては、「パレットプラザ」の店頭売上等各事業の売上高が好調に推移したことと、売上高は7億54百万円（前年同期比13.3%増）、セグメント損益は1億7百万円の損失（前年同期：1億86百万円の損失）となりました。

②モバイル事業

当第1四半期連結累計期間のモバイル事業においては、スマートフォンの販売台数の減少となったものの新たな収益源の獲得、販売イベント経費の見直しなどにより、売上高は31億52百万円（前年同期比1.1%減）、一方のセグメント損益は、1億3百万円の利益（前年同期1億97百万の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産の額は99億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億27百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が6億57百万円、商品及び製品が2億94百万円、その他流動資産が2億34百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債の額は78億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億18百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が4億23百万円、長期借入金が3億8百万円、その他流動負債が1億32百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産の額は21億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益5百万円、配当金の支払額1億20百万円により利益剰余金が1億15百万円減少したことなどによるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の20.4%から21.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月15日に公表いたしました連結業績予想の現時点における修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,239,518	1,419,542
受取手形及び売掛金	1,961,016	1,303,789
商品及び製品	2,210,669	1,916,553
原材料及び貯蔵品	230,655	242,862
その他	975,852	740,946
流動資産合計	6,617,713	5,623,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,070,003	2,019,061
減価償却累計額	△1,065,968	△1,045,446
建物及び構築物（純額）	1,004,034	973,614
機械装置及び運搬具	739,968	735,909
減価償却累計額	△662,889	△660,737
機械装置及び運搬具（純額）	77,078	75,171
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	1,175,035	1,186,278
減価償却累計額	△1,104,154	△1,090,176
リース資産（純額）	70,881	96,101
その他	819,627	817,180
減価償却累計額	△580,048	△585,062
その他（純額）	239,578	232,117
有形固定資産合計	2,902,822	2,888,254
無形固定資産		
のれん	45,614	38,839
リース資産	0	0
その他	103,286	97,315
無形固定資産合計	148,900	136,155
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,047,066	1,032,416
その他	390,022	398,159
貸倒引当金	△79,280	△79,280
投資その他の資産合計	1,357,809	1,351,296
固定資産合計	4,409,532	4,375,706
資産合計	11,027,246	9,999,400

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,271,200	847,506
短期借入金	3,334,403	3,317,735
リース債務	23,057	26,619
未払法人税等	5,446	1,361
賞与引当金	107,854	54,148
その他	872,713	740,310
流動負債合計	5,614,675	4,987,682
固定負債		
長期借入金	2,778,088	2,469,487
リース債務	53,360	75,971
退職給付に係る負債	26,052	26,052
資産除去債務	129,402	115,229
長期預り保証金	151,194	160,234
その他	27,611	27,503
固定負債合計	3,165,709	2,874,478
負債合計	8,780,385	7,862,160
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,228,511	1,228,525
利益剰余金	1,526,301	1,411,146
自己株式	△617,071	△617,548
株主資本合計	2,237,741	2,122,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,119	15,115
その他の包括利益累計額合計	9,119	15,115
純資産合計	2,246,861	2,137,239
負債純資産合計	11,027,246	9,999,400

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,853,404	3,907,017
売上原価	2,623,551	2,471,229
売上総利益	1,229,853	1,435,787
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	149,453	146,616
給料手当及び賞与	493,011	452,908
賞与引当金繰入額	58,244	53,532
雑給	40,393	40,549
賃借料	206,634	179,973
支払手数料	315,955	361,472
のれん償却額	12,229	6,774
その他	299,371	236,026
販売費及び一般管理費合計	1,575,294	1,477,854
営業損失(△)	△345,440	△42,066
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,083	1,352
協賛金収入	160	461
償却債権取立益	16,994	—
為替差益	—	13,170
助成金収入	80,897	358
雑収入	3,324	32,815
その他	9,869	12,533
営業外収益合計	112,328	60,691
営業外費用		
支払利息	13,695	15,987
為替差損	3,313	—
その他	276	14
営業外費用合計	17,285	16,002
経常利益又は経常損失(△)	△250,397	2,622
特別利益		
固定資産売却益	8,554	15,211
特別利益合計	8,554	15,211
特別損失		
減損損失	31,610	11,891
店舗閉鎖損失	1,625	2,400
特別損失合計	33,236	14,291
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△275,079	3,542
法人税、住民税及び事業税	1,423	1,361
法人税等調整額	△2,161	△3,280
法人税等合計	△738	△1,918
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△274,341	5,460
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△274,341	5,460



## （四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△274,341	5,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,340	5,996
その他の包括利益合計	6,340	5,996
四半期包括利益	△268,000	11,457
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△268,000	11,457
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	71,712千円	65,103千円
のれんの償却額	12,229	6,774

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	666,053	3,187,351	3,853,404	3,853,404	—	3,853,404
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	666,053	3,187,351	3,853,404	3,853,404	—	3,853,404
セグメント利益又は損 失(△)	△186,878	△197,914	△384,792	△384,792	39,352	△345,440

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額39,352千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△74,207千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額113,559円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄及び退店を決定した店舗等の固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、前第1四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において5,181千円、「モバイル事業」において26,429千円であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	754,483	3,152,534	3,907,017	3,907,017	—	3,907,017
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	754,483	3,152,534	3,907,017	3,907,017	—	3,907,017
セグメント利益又は損 失(△)	△107,822	103,686	△4,135	△4,135	△37,930	△42,066

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△37,930千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△78,386千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額40,455円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄及び退店を決定した店舗等の固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第1四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において3,334千円、「モバイル事業」において8,557千円であります。